

テーマ別パスファインダー



東南アジア研究



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

I. イントロダクション

＜ 地域研究とは？

地域研究とは、特定の地域に焦点を当て、歴史、文化、宗教、社会、政治、経済、自然環境などの多角的な側面から、「地域」を単位にして総合的に研究する学問分野です。その目的は、当該地域における固有な特徴を明らかにすることです。

＜ 地域研究の意義

現在の地球社会はまさに世界史的な構造変動に直面しています。例えば、地球環境の危機（気候変動）、世界経済の多極化、グローバル化と格差の拡大、地域紛争とテロの頻発、多民族社会と多文化共生などが挙げられます。そこで、この一大変動を複眼的かつ総合的に把握し、危機に直面する人類を救済できる新たな知の創造が切実に求められています。この現代的な課題に応えるために、細分化された学問領域を統合した新しい脱境界的な知見、すなわち地域研究が必要とされています（日本学術会議, 2010, p. 1）。

日本学術会議 地域研究委員会 地域研究展望分科会. (2010). 「日本の展望—学術からの提言 報告 地域研究分野の展望」. <https://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-h-1-7.pdf>. (2026/01/09 参照) より。

関係分野：政治学、経済学、開発学、歴史学、社会学、宗教学、文化人類学、地理学、環境学など

II. 初めて学ぶ方へ: 東南アジア地域研究の教科書・入門書 (日本語文献)

< [石井米雄・桜井由躬雄編\(1999\)『東南アジア史Ⅰ—大陸部—\(新版\)』山川出版社](#)

東南アジア史を大陸部(現在のミャンマー、タイ、ラオス、カンボジア、ベトナムなど)に焦点を当てて論じた通史です。前近代から近代にかけての政治体制、交易、宗教、植民地支配の展開を、地域内外との関係性の中で丁寧に描き出しています。島嶼部(とうしょぶ)を扱う続巻とあわせて読むことで、東南アジアを一体的かつ多様な歴史空間として理解することが可能になります。地域研究や歴史学を初めて学ぶ方にとっても、基礎文献として位置づけられる一冊です。

【総合図-A棟3階 学習用図書 | 208||SEK||5, 外国図-4階開架 | 209||75||5】

< [池端雪浦編\(1999\)『東南アジア史Ⅱ—島嶼部—\(新版\)』山川出版社](#)

インドネシア、フィリピン、マレーシアなどを中心とする東南アジア島嶼部の歴史を通史的にまとめた一冊です。海域世界としての東南アジアに着目し、交易ネットワーク、イスラーム化とキリスト教化、植民地支配、ナショナリズムの形成といった主題を、地域内外の動態と結びつけて論じています。大陸部を扱う前巻と対照的に読むことで、東南アジア史の内部に存在する歴史的経験の差異と共通性を立体的に理解することができます。

【総合図-A棟3階 学習用図書 | 208||SEK||6, 外国図-4階開架 | 209||75||6】

< [池端雪浦 \[ほか\] 編集委員\(2001-2003\)『岩波講座 東南アジア史\(全9巻+別巻\)』岩波書店](#)

東南アジア史研究を体系的にまとめた、日本語でも読める最も包括的な学術講座です。先史・古代から近世、植民地期、ナショナリズムの展開、国民国家形成、そして開発の時代に至るまで、東南アジア世界の歴史の変容を長期的視野のもとで描き出しています。1~9巻+各巻は時代区分ごとに編成され、政治史・経済史のみならず、社会構造、宗教、交易、国際関係など多様なテーマを扱っています。別巻の『東南アジア史研究案内』では、主要研究動向や文献が整理されており、大学院生や研究者にとって不可欠な参照資料となっています。東南アジア地域研究を専門的に学ぶ上での基礎文献であると同時に、日本における地域史研究の水準の高さを示す講座です。

【総合図-A棟3階 学習用図書 | 223||IWA||1~9+#, 外国図-4階開架 | 223||221||1~9+別巻】

< [井上真編\(2017\)『東南アジア地域研究入門;1 環境』慶応義塾大学出版会](#)

< [宮原暁編\(2017\)『東南アジア地域研究入門;2 社会』慶応義塾大学出版会](#)

< [山本信人編\(2017\)『東南アジア地域研究入門;3 政治』慶応義塾大学出版会](#)

東南アジアについてどのように捉えるべきか、環境、社会、政治の3冊にわたり、各国を比較しながら論じた、東南アジア地域研究の入門書です。分野横断的な視点を通じて、東南アジア地域の多様性と共通性を理解するための基礎的知識を提供しており、初めて東南アジア地域研究を学ぶ方にとって最適なシリーズとなっています。

【総合図-A棟3階 学習用図書 | 302.23||TON||1~3】

＜ [今井昭夫編集代表・東京外国語大学東南アジア課程編\(2014\)『東南アジアを知るための50章』](#)
[明石書店](#)

東南アジア地域を理解するための主要テーマを50の章に分けて解説した、定評ある入門的概説書です。歴史、政治、経済、社会、文化、宗教、言語、国際関係といった幅広い分野を横断しながら、それぞれの章で具体的な事例を用いて論点を整理しています。各章は比較的独立して読める構成になっており、体系的に通読することも、関心のあるテーマを拾い読みすることも可能です。東南アジア地域研究をこれから学ぶ方にとって、全体像をつかむための基本文献の一つといえます。

【総合図-A棟3階 学習用図書 | 302.23||IMA, 外国図-4階開架 | 302.23||103】

＜ [川中豪川村晃一編\(2020\)『教養の東南アジア現代史』](#) [ミネルヴァ書房](#)

従来の歴史叙述は、国家単位での「横」の棲み分けと、時代単位（植民地支配→第二次世界大戦→独立→権威主義時代→民主化）での「縦」の棲み分けという、大きく二つの方法が取られてきました。しかし本書は、このどちらのアプローチもとっていないという点でユニークな本です。具体的には、植民地支配とナショナリズム、国家建設、経済発展、民主主義と権威主義、法の支配、軍、民族、宗教、地方、社会階層・格差、メディア、ジェンダー、人の移動、国際関係、日本の東南アジア、というテーマごとの章構成になっています。他の文献をある程度を読んだ方が、各セクションをつまんで読みたい方におすすめです。

【総合図-書庫棟 研究用図書 | 223||KAW, 外国図-4階開架 | 223||255】

＜ [中西嘉宏・野中葉編\(2026\)『東南アジアを学ぶ人のために』](#) [世界思想社](#)

2026年1月現在、国内で最も新しく刊行されている入門書です。本るくぱす作成時(2026/01/23)には、大阪大学のいずれの図書館にも所蔵されていませんが、いずれ所蔵されることが予想されるため紹介します。世界思想社のホームページ (<https://sekaishisosha.jp/book/b671009.html>, 最終確認日:2026/01/23)によると、以下のように紹介されています。

躍動する7億人の〈現在地〉

急成長する経済、都市の熱気、揺らぐ政治情勢、植民地の記憶。

多様性に富む社会は、次々と新しい姿を見せている。

日本との関係が深まるいま、東南アジアの必須知識がわかる入門書。～中略～

本書の特長

- 東南アジアの歴史・自然・社会・政治・経済、そして日本との関係を一冊で俯瞰
- 各分野の第一線で活躍する研究者が、その知見をわかりやすく解説
- 現地での経験やエピソードを交え、臨場感のある読み物としても楽しめる
- もっと学びたい人のための必読文献リスト付き

【世界思想社ホームページ: <https://sekaishisosha.jp/book/b671009.html> (最終確認日:2026/01/23)】

【外国図-4階開架 | 302.23||108】

＜ [早瀬晋三\(2007\)『戦争の記憶を歩く：東南アジアのいま』岩波書店](#)

太平洋戦争中、大日本帝国は東アジア・東南アジア地域の一部を侵略し、占領下に置きました。本書は、戦後の東南アジア各国と日本との関係について、国ごとに歴史をまとめた本です。特に、現在の東南アジアの国々で、日本との戦争がどのように記憶・記録されているか、後世に伝えられようとしているのかを、記念碑や博物館の展示などを通して調査しています。戦争の歴史や記憶の継承について興味がある方におすすめの本です。

【総合図-A 棟 3 階 学習用図書 | 223||HAY, 外国図-4 階開架 | 223||234】

＜ [古田元夫\(2021\)『東南アジア史 10 講』岩波書店](#)

東南アジアの歴史について、それぞれの時代における各国の状況を比較し、俯瞰的に論じた新書です。古代～近世は手短かに論じつつ、植民地支配の到来、第二次世界大戦、冷戦時代における各国の独立、急速な近代化、ASEAN の成立、アジア通貨危機、そして現在に至るまでの、特に前近代以降の政治経済分野について、明瞭に描かれています。国際関係論について関心がある方や、大学院入試対策が必要な方におすすめの本です。

【総合図-A 棟 3 階 文庫・新書 | 089||IS||R1883, 外国図-4 階新書 | 223||258】

＜ [箕曲在弘, 二文字屋脩, 吉田ゆか子編\(2024\)『東南アジアで学ぶ文化人類学』\(地域で学ぶ文化人類学\) 昭和堂](#)

東南アジア地域について、文化人類学的な観点から横断的に論じた最新の教科書です。文化人類学は、地域研究全体に多大な影響をもたらした学問領域です。シリーズ「地域で学ぶ文化人類学」では、東南アジア地域についてだけでなく、[『東アジアで学ぶ文化人類学』](#)、[『アフリカで学ぶ文化人類学』](#)、[『オセアニアで学ぶ文化人類学』](#)、[『日本で学ぶ文化人類学』](#)なども出版されています。文化人類学について興味がある方は、研究対象とは別の地域を、比較してみるのもおすすめです。

【外国図-4 階開架 | 382.23||26】

＜ [桃木至朗 ほか編\(2008\)『東南アジアを知る事典 \(新版\)』平凡社](#)

東南アジア諸国（ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、ミャンマー、マレーシア、ブルネイ、シンガポール、インドネシア、東ティモール、フィリピン）を対象に、歴史・政治・社会・宗教・経済・文化などの基礎事項を網羅的に解説した事典です。各国別項目に加え、民族、宗教、言語、植民地支配、ナショナリズム、地域統合といった横断的テーマも充実しており、調べものから研究の出発点まで幅広く活用できます。東南アジア地域研究に初めて触れる方も、研究者も参照する定評ある基本文献です。

【総合図-A 棟 3 階 学習用図書 | 223||TON, 外国図-3 階参考図書 | 302.23||43】

III. 東南アジア地域を広く理解するための必読書（日本語の訳書あり）

次に、特定の国や地域に限定されず、「東南アジア地域」をより広い歴史的・理論的枠組みのなかで捉えるための代表的な著作を紹介します。いずれも、東南アジアを世界史、政治思想、宗教、経済、社会秩序といった観点から位置づけ直し、地域研究に横断的な視座を与えてきた古典的文献です。

また、これらの著作はすべて外国語の原著と日本語訳の双方が刊行されており、初学者が日本語で全体像を把握したうえで、必要に応じて原著にあたることのできる点も特徴です。東南アジア地域研究を学び始める際の基礎文献としてだけでなく、各分野の研究を理論的・比較的に深めるための参照点としても位置づけられます。

- ＜ [アンソニー・リード（2021）『世界史のなかの東南アジア：歴史を変える交差点（上・下）』名古屋大学出版会，太田淳，長田紀之監訳；青山和佳〔ほか〕訳](#)

上巻：https://opac.library.osaka-u.ac.jp/opac/opac_link/bibid/2004532771

下巻：https://opac.library.osaka-u.ac.jp/opac/opac_link/bibid/2004532772

原著はこちら

- ＜ [Reid, A. \(2015\). A history of Southeast Asia: critical crossroads. John Wiley & Sons.](#)

東南アジアを世界史のなかに位置づけ、地域内部の多様性と外部世界との結節点としての性格を描き出した、東南アジア史研究の代表的著作です。リードは、政治史や経済史にとどまらず、環境、宗教、交易、ジェンダーといった多角的な観点から、東南アジアが歴史的に果たしてきた役割を明らかにしています。本書は、東南アジア地域研究を俯瞰的に理解するための基礎文献であり、初学者にも研究者にも幅広く参照されています。

日本語訳書【外国図-4階開架 | 223||256||1・2】

原著【総合図-A棟3階 学習用図書 | 223||RE1】

- ＜ [クリフォード・ギアツ\(1990\)『ヌガラ：19世紀バリの劇場国家』みすず書房，小泉潤二訳.](#)

原著はこちら

- ＜ [Geertz, C. \(1980\). Negara: the theatre state in nineteenth-century Bali. Princeton University Press.](#)

19世紀バリ王権を事例に、東南アジアにおける近代化以前の国家のあり方を描いた、文化人類学の古典的著作です。ギアツは、国家を行政組織としてではなく、儀礼や祝祭が中心となって成り立つものとして捉えました。彼によれば、王の権力は命令や制度によって直接示されるものではなく、儀礼や行列、宗教儀式、空間の使われ方を通じて、人びとの前に示され、理解されていきます。本書は、近代的な国家像とは異なる統治のかたちを示しています。宗教と政治がどのように結びついてきたのかを考えるうえで、東南アジア研究の基本文献とされています。

日本語訳書【総合図-A棟3階 学習用図書 | 389.245||GEE, 外国図-4階開架 | 389.24||62】

原著【総合図-書庫棟 研究用図書 | 224.2||GEE】

< [ジェームズ・C・スコット\(2013\)『ゾミア：脱国家の世界史』みすず書房，池田一人ほか訳](#)

原著はこちら

< [Scott, J. C. \(2009\). The art of not being governed: an anarchist history of upland Southeast Asia. Yale University Press.](#)

東南アジア大陸部から中国南部に広がる山地世界「ゾミア」を対象に、国家の支配を意図的に回避してきた人びとの歴史を描いた著作です。スコットは、焼畑農耕、移動性の高い居住形態、文字を持たない社会組織などを、後進性の表れとしてではなく、国家による徴税・徴兵・統治から距離を取るための戦略として捉え直しています。本書は、国家形成を前提とする従来の歴史観や文明観に批判的視点を投げかけ、人びとによる「国家に組み込まれない生き方」がいかに歴史的に構築されてきたのかを明らかにしています。東南アジア研究にとどまらず、国家・権力・周縁社会を考えるうえで広く参照される一冊です。

日本語訳書【総合図-A棟3階 学習用図書 | 316.823||SC0, 外国図-4階開架 | 316.8||307】

原著【総合図-A棟3階 学習用図書 | 316.823||SC0】

< [ジェームズ・C・スコット\(1999\)『モーラル・エコノミー：東南アジアの農民叛乱と生存維持』勁草書房，高橋彰訳](#)

原著はこちら

< [Scott, J. C. \(1976\). The moral economy of the peasant: rebellion and subsistence in Southeast Asia. Yale University Press.](#)

東南アジアの農民社会を対象に、人びとが生存を維持するために共有してきた道徳的規範や慣行を「モーラル・エコノミー」という概念から分析した、地域研究の古典的著作です。スコットは、農民の反乱や抵抗を単なる経済的合理性や政治的動員の結果としてではなく、生存を脅かす状況に対する正当な行為として捉え直しています。本書は、国家・市場・地域社会の関係を「下から」理解する視点を提示し、東南アジア地域研究に大きな影響を与えてきました。

日本語訳書【総合図-A棟4階 学習用図書 | 612.23||SC0, 外国図-4階開架 | 612.23||21】

原著【総合図-書庫棟 研究用図書 | 362.23||SC0, 外国図1階書庫一般 | 612.23||10】

< [ベネディクト・アンダーソン\(2005\)『比較の亡霊：ナショナリズム・東南アジア・社会』作品社，糟谷啓介〔ほか〕訳](#)

原著はこちら

< [Anderson, B. \(1998\). The spectre of comparisons: nationalism, Southeast Asia, and the world. Verso.](#)

タイ、フィリピン、インドネシアにおける国家の成立過程と比較を通してナショナリズムの起源を実証的に探究した比較政治学、歴史学的な名著です。著者であるアンダーソンの前作『想像の共同体』の続編としての性格が強いですが、先述の3国に関する歴史を個別にまとめた論文を列挙する形で、本書が構成されているため、国ごとに読んでも読みごたえがあります。

日本語訳書【総合図-A棟3階 学習用図書 | 311.3||AND, 外国図-4階開架 | 312.23||63】

原著【総合図-書庫棟 研究用図書 | 312.23||AND, 外国図-1階書庫一般 | 312.23||59】

- < [ベネディクト・アンダーソン\(2012\)『三つの旗のもとに：アナーキズムと反植民主義的想像力』NTT出版, 山本信人 訳](#)

原著はこちら

- < [Anderson, B. \(2005\). Under three flags: anarchism and the anti-colonial imagination. Verso.](#)

19世紀末から20世紀初頭にかけての反植民地運動を、アナーキズム思想の国際的な広がりとの関係から描いた著作です。アナーキズムとは、国家や権力による強制的支配を批判し、人びとの自発的な連帯や相互扶助に基づく社会を構想する思想潮流を指します。アンダーソンは、フィリピン独立運動をはじめとする東南アジアの政治運動が、ヨーロッパやラテンアメリカの思想・文学・人の移動と結びついていたことを明らかにしています。本書は、ナショナリズムを一国史の枠に閉じるのではなく、越境的な思想と想像力の連鎖として捉え直す視点を提示しており、東南アジア地域研究と世界史を接続する重要な一冊です。

日本語訳書【総合図-A棟3階 学習用図書 | 309.02248||AND, 外国図-4階開架 | 309.7||49】

原著【総合図-書庫棟 研究用図書 | 309.7||AND】

IV. 日本国内の学会・研究所・ジャーナルの紹介

＜ 東南アジア学会 <https://www.jsseas.org/> (最終確認日：2026/01/09)

日本における東南アジア地域研究者が在籍する学会です。研究大会情報や研究動向を把握できます。

＜ 『東南アジア—歴史と文化—』 (Print ISSN：0386-9040 / Online ISSN：1883-7557)

同学会が発行する学会誌です。東南アジア地域を対象に、歴史学を中心としつつ、文化・社会・宗教などに関する研究論文や研究動向が掲載されています。

【外国図-雑誌】

【電子ジャーナル <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sea/-char/ja> / 一部巻号は冊子】

＜ 京都大学東南アジア地域研究研究所 (CSEAS) <https://www.cseas.kyoto-u.ac.jp/> (最終確認日：2026/01/09)

日本における東南アジア地域研究の拠点的機関で、研究成果・出版物・データベースが公開されています。1963年に、国内で初めて設立された東南アジア地域研究の研究所です。

＜ 『東南アジア研究』 (Print ISSN：0563-8682 / Online ISSN：2424-1377)

上記の京都大学東南アジア地域研究研究所が発行する学術紙です。東南アジア地域を対象に、地域研究の理論的枠組みや最新の研究成果を掲載しており、学際的な視点から地域を捉える研究論文が多く収録されています。

【外国図-雑誌 | K||32||11 | 紀要 (1階書庫)】

【電子ジャーナル：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tak/-char/ja>】

＜ 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科 (ASAFAS) <https://www.asafas.kyoto-u.ac.jp/> (最終確認日：2026/01/09)

先述の東南アジア地域研究研究所に加え、京都大学では1986年に、アフリカ地域研究センターが設立され、地域研究の対象と体制が拡張されました。これらの研究蓄積を基盤として、1998年にアジア・アフリカ地域研究研究科 (ASAFAS) が設置され、大学院レベルでの体系的な地域研究教育・研究が開始されました。

＜ 『アジア・アフリカ地域研究』 (Print ISSN：1346-2466 / Online ISSN：2188-9104)

上記の京都大学アジア・アフリカ地域研究研究所が発行する学術紙です。アジア・アフリカ地域を対象に、地域研究の理論的枠組みや最新の研究成果を掲載しており、学際的な視点から地域を捉える研究論文が多く収録されています。

【外国図-雑誌 | K||32||47 | 紀要 (1階書庫)】

【電子ジャーナル：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/asafas/-char/ja> / 一部巻号は冊子】

＜ **東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (ILCAA)** <https://www.aa.tufs.ac.jp/>
(最終確認日：2026/01/09)

東京外国語大学に附置された共同研究拠点で、アジアおよびアフリカの言語と文化に関する研究を総合的に推進している研究機関です。同研究所は1964年に設立され、日本におけるアジア・アフリカ研究の拠点として長い歴史を有しています。京都大学のアジア・アフリカ地域研究関連機関と並び、言語研究を基盤とした地域研究を体系的に展開してきた、国内有数の研究機関として位置づけられています。

＜ **『アジア・アフリカ言語文化研究』** (Print ISSN：0387-2807 / Online ISSN 2436-911X)

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所が刊行する学術雑誌です。各号には査読を経た水準の高い言語学・歴史学・文化人類学分野の論文が掲載されています。海外からの投稿も多く、国際的にも高い評価を受けているジャーナルです。

【外国図-雑誌 | T||10||27 | 紀要 (1階書庫)】

【電子ジャーナル：<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ilcaajaas/-char/ja/> / 一部巻号は冊子】

＜ **『アジア太平洋論叢』** (Print ISSN：1346-6224 / Online ISSN：2434-9054)

旧大阪外国語大学、現在の大阪大学グローバルイニシアティブ機構が発行する機関誌です。アジア太平洋地域を対象に、言語・文化・社会・歴史など多様な分野にわたる研究成果が掲載されています。

【外国図-雑誌 | 0||4||15 | 紀要 (1階書庫)】

【電子ジャーナル：https://www.jstage.jst.go.jp/browse/transasiapacific/_pubinfo/-char/ja/ / 一部巻号は冊子】

＜ **国立民族学博物館** <https://www.minpaku.ac.jp/> (最終確認日：2026/01/09)

国立民族学博物館(みんぱく)は、世界のさまざまな地域の文化や暮らしを、実物資料や映像を通して学ぶことができる研究機関・博物館です。東南アジアに限らず幅広い地域の、人びとの宗教、祭り、家族、仕事、生活道具などをテーマにした展示や研究が行われています。

展示の多くは、研究者が現地での調査を通して集めた資料にもとづいており、本るくばすでここまで紹介してきたような「教科書で読む東南アジア」ではなく、「人びとがどのように生きているのか」を具体的に知ることができます。初めて東南アジア地域研究に触れる方にとって、文化や社会の多様性を目で見て、直感的に体感する入口となる施設です。

✧ 図書利用のためのヒント

[図書/論文の検索]

論文や Pathfinder に掲載されている図書等を検索するには

【図書・ジャーナル】

- ・外国学図書館各階にある検索端末を利用するか、お持ちのデバイスで検索してください。
- ・その際は、書名や出版年、出版社、著者名、ISBN、ISSN 等を OPAC 検索に打ち込んでください。

【電子ジャーナル】

- ・電子ジャーナルの種別によって学内・学外からのアクセスの可否が異なります。
- ・多くの場合は「附属図書館 HP」→「電子ジャーナル」で検索できます。見つからない場合は、2 階カウンター/LS デスクまでお問い合わせください。

[パスファインダーの凡例]

- ◀ 図書名はすべて以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)
著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)
- ◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と請求記号を記しました。
総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)
生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)
理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)
人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)
外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)
外国図-雑誌 → 直近 1~2 年に出版されたものは 3 階雑誌コーナー、バックナンバーは 1 階書庫
電 → 電子ジャーナル、電子ブック
※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。
- ◀ 検索を容易にするために、NCID (CiNii Books で使われる各図書固有の識別番号) や ISBN (世界的に使われる各図書固有の識別番号)、ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合があります。
- ◀ 外国学図書館を中心に紹介しているため、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LS デスクまでお尋ねください。